

# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年10月26日

 栄研化学株式会社

## 本日の内容

1. 2017年3月期 第2四半期 トピックス
2. 2017年3月期 第2四半期 連結経営成績
3. 2017年3月期 重点施策・連結業績予想

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。  
当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

 栄研化学株式会社

## 2017年3月期 第2四半期 トピックス

1. TB-LAMP のWHO推奨取得(2016年8月)
2. HUMAN社とのグローバル販売提携(TB-LAMP等)
3. 大腸がんスクリーニングの新ガイドライン発行  
(米国: USPSTF、2016年6月)
4. 尿試験紙(ウロペーパー)の新製造棟の完成(2016年10月)  
(2017年9月 稼働予定)
5. 便潜血検査用試薬(OC)・免疫血清学的検査用試薬(LZ)の増産  
に向けた那須工場の増改築着工(2017年4月 稼働予定)

2

## 2017年3月期 第2四半期 連結経営成績

3

## 2017年3月期 第2四半期 連結業績総括

(単位: 百万円)

	2017年3月期 第2四半期					
	業績予想	実績	構成比	予実差異	前年 同期差異	前年 同期比
売上高	16,810	16,804	100.0%	▲5	506	103.1%
営業利益	1,920	2,325	13.8%	405	366	118.7%
経常利益	1,920	2,343	13.9%	423	358	118.1%
四半期純利益*	1,410	1,715	10.2%	305	452	135.8%

\*親会社株主に帰属する四半期純利益

### 【売上高】

予想に対しては未達となったものの、前期に対しては海外向けの売上が伸長したほか、国内において主力製品の便潜血検査用試薬や迅速検査試薬(イムノキャッチシリーズ)の売上が牽引し、前期比3.1%増

### 【営業利益】

自社製品の製造原価の低減、経費の効率的な使用に努め、第2四半期に見込んでいた研究開発費が第3四半期以降にずれ込んだこともあり、前期比18.7%増

 栄研化学株式会社

4

## 製品の種別別区分ごとの売上高

製品の種別別区分	2017年3月期 第2四半期	
	実績(百万円)	前年同期比(%)
便潜血検査用試薬 (OC)	4,533	100.3
免疫血清学的検査用試薬 (OCを除く)	5,020	98.9
尿検査用試薬 (ウロペーパー)	1,237	109.2
微生物検査用試薬	2,470	108.7
生化学的検査用試薬	318	94.4
器具・食品環境関連培地	1,130	98.6
医療機器関連 (遺伝子関連を除く)	1,520	114.5
遺伝子関連(LAMP)	573	118.5

 栄研化学株式会社

5

## 便潜血検査用試薬(OC) 売上・活動

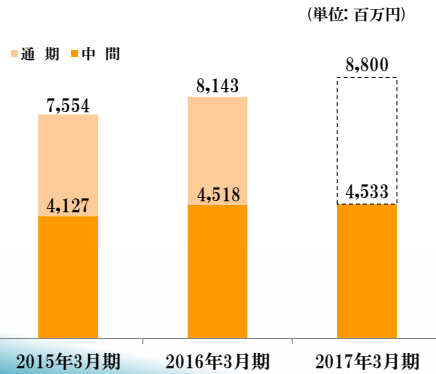
◇ 前年同期比: 100.3%

(国内) 前年同期比: 104.6%

- 便潜血測定装置「OCセンサーPLEDIA (プレディア)」の設置推進による新規採用拡大
- 大腸がん検診受診率アップのための啓発活動

(海外) 前年同期比: 90.0%

- 米国: 市場展開が遅れ販売減
- 欧州: フランス向けの販売計画未達  
イングランド国家スクリーニングの  
開始時期遅延



- 米国予防医療特別委員会(USPSTF)の大腸がんスクリーニングに関する新ガイドライン発行(2016年6月)を受け、新規顧客獲得に向けた活動に注力
- 欧州: 大腸がん国家スクリーニング獲得に向けた活動継続

6

栄研化学株式会社

## 免疫血清学的検査用試薬(OCを除く) 売上・活動

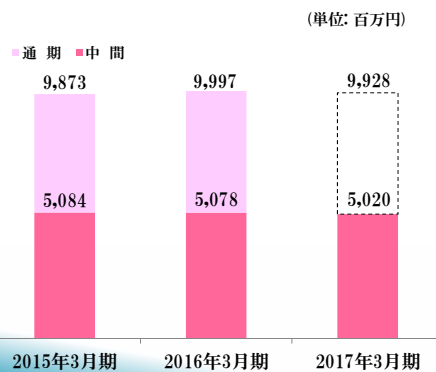
◇ 前年同期比: 98.9%

(AIA関連試薬)

- 他社との競争激化により、減少

(LZ試薬)

- ヘリコバクター・ピロリ抗体検査用試薬を中心に増加
- 胃の健康度評価(ABC分類)の普及促進
- 間質性肺炎の検査用試薬「KL-6」の新規採用・販売促進



7

栄研化学株式会社

## 尿検査用試薬 売上・活動

◇ 前年同期比: 109.2%

(国内)

□ 尿自動分析装置「US-2200」及び全自動尿分析装置「US-3500」の新規採用先増加により、ウロペーパー及びウロペーパーαが伸長

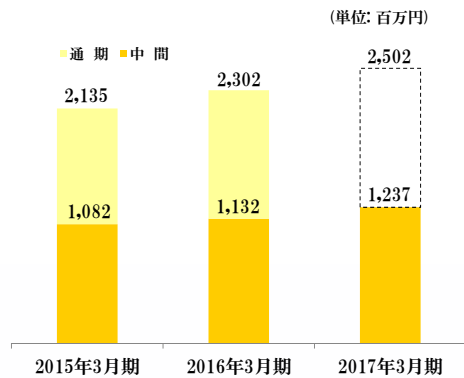
□ 尿自動分析装置「US-1000」の後継機種「US-1200」を発売(8月)



US-1200

(海外)

□ シスメックス社向け尿試験紙の供給を開始し、売上に寄与



栄研化学株式会社

8

## 微生物検査用試薬 売上・活動

◇ 前年同期比: 108.7%

(培地)

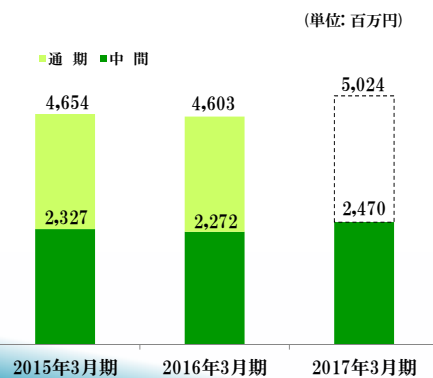
□ 糞便培地検査の遺伝子検査への変更の影響を受け、生培地の売上減少

(迅速検査試薬)

□ 「イムノキャッチ-レジオネラ」と「イムノキャッチ-肺炎球菌」のセットでの販売促進により、大幅な売上増加

(薬剤感受性検査用試薬)

□ 病院市場での微生物分類同定分析装置(MALDIバイオタイパー)と組み合わせたトータル提案での新規顧客の獲得等により、ドライプレートの売上増加



栄研化学株式会社

9

## 遺伝子関連(LAMP) 売上・活動

◇ 前年同期比: 118.5%

(国内)

□ 結核菌群検出試薬、マイコプラズマ検出試薬が伸長

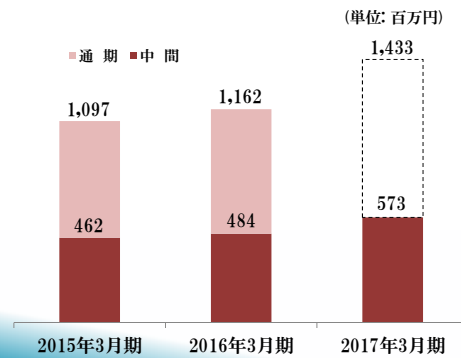
(海外)

□ TB-LAMP のWHO推奨取得 (2016年8月)

□ ドイツのHUMAN社とTB-LAMP等について、一部地域を除いてグローバル販売契約を締結

(ライセンス)

□ 特許料収入: 243百万円 (前年同期実績: 189百万円)



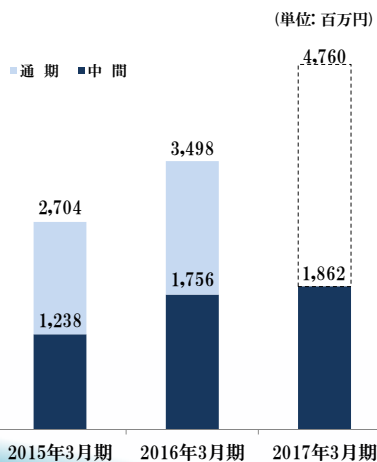
10

栄研化学株式会社

## 海外向け売上高

売上高

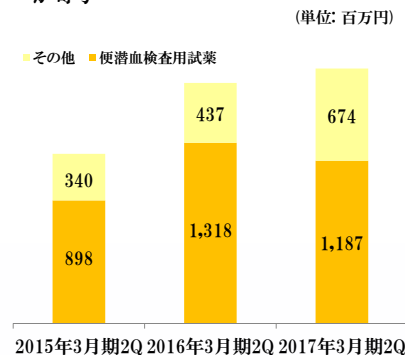
◇ 前年同期比: 106.0%



売上高(製品種類別)

◇ 便潜血検査用試薬(OC): 前年同期比90.0% ⇒米国及び欧州での販売減

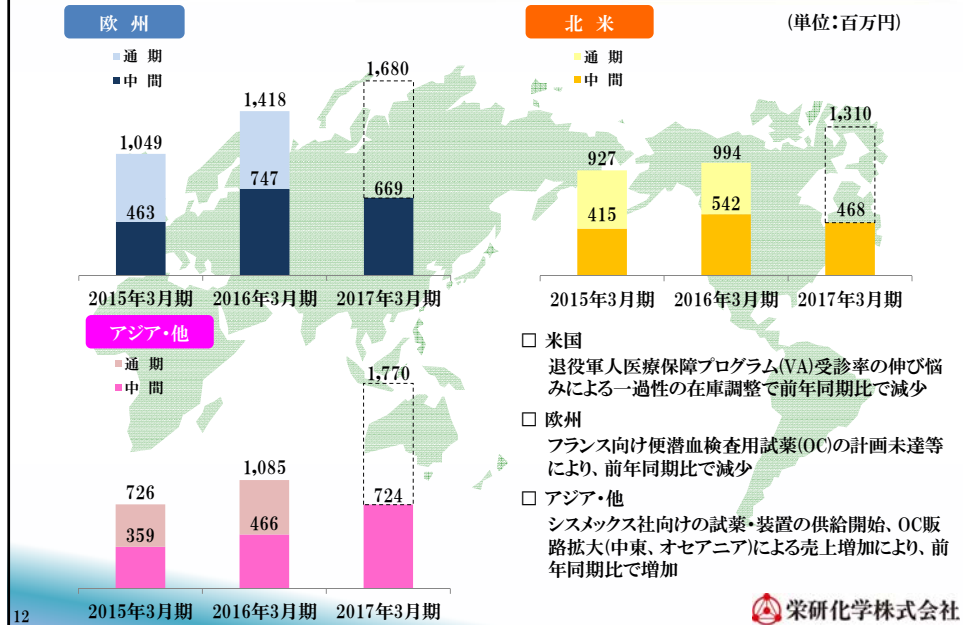
◇ その他(機器を含む): 前年同期比154.4% ⇒シスメックス社向けの尿試験紙・装置の売上が寄与



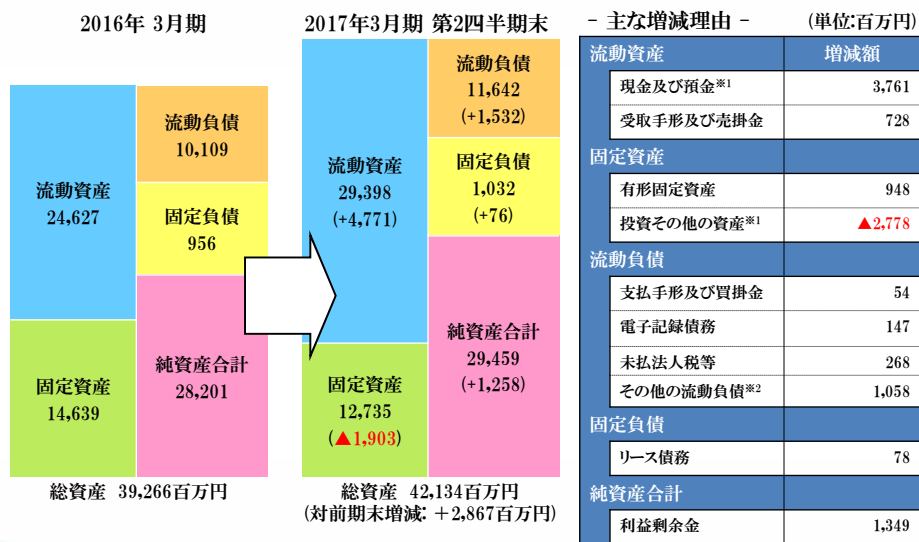
11

栄研化学株式会社

## 海外向け売上高(地域別)



## 貸借対照表(主な増減理由)



\*1. 現金及び預金が37億61百万円増加。主に、長期預金29億円の現金及び預金への振替によるもの

\*2. 流動負債その他が10億58百万円増加。主に、設備投資に伴い営業外電子記録債務が6億9百万円増加したことによるもの

13

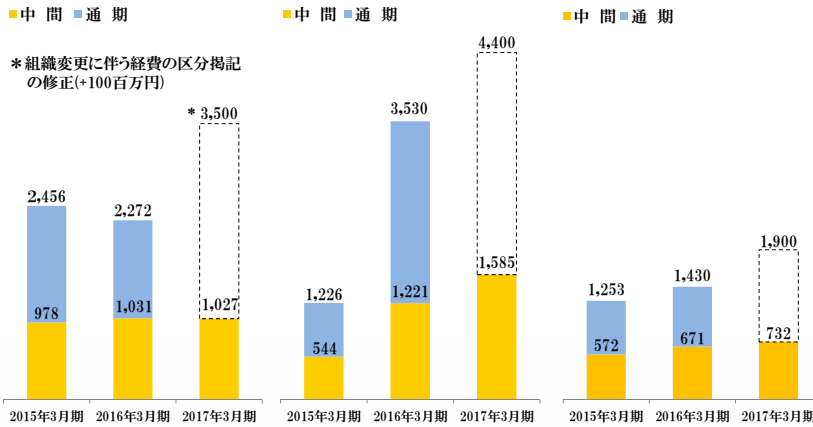
栄研化学株式会社

## 研究開発費・設備投資の推移

研究開発費(百万円)

設備投資(百万円)

減価償却費(百万円)



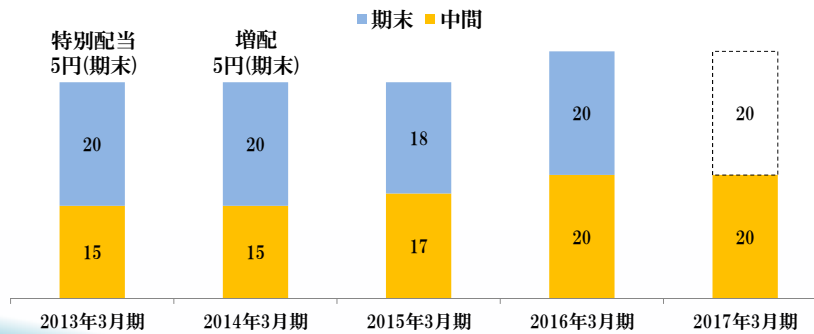
14

栄研化学株式会社

## 株主還元(配当金)

中間配当: 1株当たり20円

連結中間配当総額: 3億66百万円



15

栄研化学株式会社



# 2017年3月期 重点施策・連結業績予想

16

 栄研化学株式会社

## 2017年3月期 第3・4四半期 重点施策

### 販売

#### (1) 便潜血検査

- ✓ 国内での大腸がん検診普及活動による市場の拡大、「OCセンサーPLEDIA(プレディア)」の設置推進による新規採用獲得
- ✓ USPSTFガイドライン発行を起点とする新規顧客の獲得工作(化学法から切替促進)
- ✓ フランス国家スクリーニング検査参加率増加のための啓発活動
- ✓ イングランド国家スクリーニング及びドイツのスクリーニングプログラム獲得
- ✓ 中東、アジア・オセアニアの代理店整備・展開とスクリーニング検査対応

#### (2) 尿検査

- ✓ 国内: 全自動尿分析装置「US-3500」、尿自動分析装置「US-1200」の設置促進
- ✓ 海外: シスメックス社向けの尿試験紙・装置の売上拡大

#### (3) 免疫血清学的検査

- ✓ 胃の健康度検査(ABC分類)の普及推進
- ✓ 東ソーから導入・販売している全自動化学発光酵素免疫測定装置「AIA-CL2400」、新機種「AIA-CL1200」の設置促進

#### (4) 遺伝子検査

- ✓ 結核遺伝子検査薬・装置(TB-LAMP)、マラリア遺伝子検査薬・装置のグローバル展開

17

 栄研化学株式会社

## 2017年3月期 第3・4四半期 重点施策

### 研究開発

- (1)次世代の小型全自動遺伝子検査装置及び多項目検査チップ(呼吸器感染症パネル)の開発推進
- (2)便潜血検査のOTCガイドライン発行を見据えた申請準備
- (3)オープンイノベーションによる新規バイオマーカー、新技術の探索

### 拠点整備・その他

- (1)尿試験紙(ウロペーパー)の増産体制の確立  
(2017年9月 稼働予定)
- (2)便潜血検査用試薬(OC)・免疫血清学的検査用試薬(LZ)の増産体制の確立  
(2017年4月 稼働予定)
- (3)IT投資戦略の見直しとIT中期計画の策定



18

 栄研化学株式会社

## 2017年3月期 連結業績予想

通期業績予想 (単位:百万円)

	連 結		
	金 額	構 成 比	対前期比
売 上 高	33,830	100.0%	105.2%
営 業 利 益	2,710	8.0%	76.6%*2
経 常 利 益	2,710	8.0%	75.9%*2
当 期 純 利 益 *1	1,820	5.4%	74.9%*2

\*1 親会社株主に帰属する当期純利益

\*2 集中的な研究開発投資等の一時的な費用増加により減益見込み

配当予想 (単位:円)

	中間配当	期末配当	年 間	配当性向
	20	20	40	40.3%

\* 通期業績予想及び配当については、期首に公表した内容から変更していません

19

 栄研化学株式会社



# 栄研化学株式会社

臨床検査薬の総合メーカーとして  
人々の健康に貢献していきます。

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。  
当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

 栄研化学株式会社

(参考)

## 中期経営計画(2017年3月期～2019年3月期)

### 【経営目標】

グローバル企業“EIKEN”の実現に向けた取り組みを加速し、ヘルスケアを通じて世界に貢献するとともに持続的な成長と着実な収益性の向上を目指す。

### 業績目標

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期
売上高 (百万円)	33,830	35,840	<b>37,880</b>
海外向け売上高 (百万円)	4,760	6,520	<b>8,120</b>
海外向け売上比率 (%)	14.1	18.2	<b>21.4</b>
営業利益 (百万円)	2,710	3,600	<b>4,700</b>
営業利益率 (%)	8.0	10.0	<b>12.4</b>
ROE (%)	6.4	8.4	<b>10.4</b>

### 成長戦略

- ・国内市場での自社製品のシェアアップ
- ・グローバル展開の加速

### 次の成長への投資

- ・研究開発力の強化
- ・経営効率を高めるための基盤整備

 栄研化学株式会社